

地域活性化委員会

委員長 杉谷 俊輔
副委員長 藤井 浩太

1) 基本方針

地域社会では、様々な価値観が生まれ、多様性を重視した変化への対応が求められています。その中で協働と共創が生む力が、多様性を活かしたまちづくりには不可欠です。協働と共創が生む力を身に付け、多様性を活かす教育やまちづくりが三四地区でも重要視されています。私たち四日市青年会議所は、自らが多様性について学び、未来を担う青少年を中心とした地域に住まう方々に、協働と共創についての機会をもたらす必要があります。

四日市市では子どもたちの生きる力と共に生きる力について教育を進めています。子どもたちへ多様な価値観を伝えていくためには、まず私たち青年が多様性と共生について学び直し、より理解を深めることが重要です。新たな理解は新たな発見へと結び付き、潜在しているまちの魅力を引き出すきっかけとなります。次に、四日市青年会議所と青少年がパートナーシップを結び活動を展開していきます。パートナーの青少年を中心に協働、共創から発揮できる力を私たちが伝え、固定観念にとらわれることなく、個人や集団が持つ違いについて尊重することを学ぶことで、青少年の多様な価値観を育みます。また、保護者の方をはじめ大人世代の方々には青少年の育成に新たな視点を持っていただき、子どもの成長過程に様々な機会を提供することができます。そして、青少年たちが学び得た協働、共創の力を実践し、地域の発展に貢献できることを体感していただくことで、自身の成長へとつなげていただきます。サルビア基金交付事業では、青少年育成に関係する地域団体へ基金交付を行い、地域発展に役立てられる新たな試みとなる運動を展開していきます。

青少年の多様性溢れる育成と成長は、まちの発展に貢献し、サルビア基金は地域社会の発展と青少年をつなぐ架け橋となります。そして、四日市青年会議所は多様性を尊重し、皆が共に生きる社会を実現させ、誰もが自分らしく輝く地域社会をつくる組織となります。

2) 事業計画

- | | |
|-------------------------------|-----------|
| 1. 3 月度例会 | 3 月 10 日 |
| 2. 8 月度例会 | 8 月 9 日 |
| 3. 10 月度例会 | 10 月 11 日 |
| 4. サルビア基金積立活動 | 1 月～9 月 |
| 5. サルビア基金交付先団体の選定 | 1 月～9 月 |
| 6. サルビア基金交付事業 | 10 月 11 日 |
| 7. 対外事業窓口（海洋少年団、四日市港まつり実行委員会） | |
| 8. 出向者への支援 | 通年 |
| 9. 同好会への支援 | 通年 |

3) 事業予算

318,800 円

4) 委員会開催予定日

毎月第 2 火曜日

38 第二回正副理事長予定者会議 2025 年 10 月 15 日(水)

39 意見 1 : L1 の多様性が育まれており、とありますが、ここに記載する時点で既に育まれて
40 いるという認識で OK ですか。

41 対応 1 : L1 の文章を全体的に見直し訂正しました。

42 意見 2 : L2 の経済や行政、青少年育成に関する変化への対応とはどういったイメージでし
43 ょうか。

44 対応 2 : 多様性を重要視し、仕事、教育、生活のスタイルを考え直していることが多いと
45 いうイメージでしたが、文章を見直し一考しました。

46 意見 3 : L3 の人口減少や超高齢化社会は、停滞という表現でよいでしょうか。深刻化して
47 いるイメージなので。

48 対応 3 : L3 の文章を全体的に見直ししました。

49 意見 4 : L7 の重要性について取り組みます。とありますが、重要性をどうするのでしょうか。
50 か。

51 対応 4 : 文章を見直し一考しました。

52 意見 5 : L8 の新たなまちの魅力を発見～挑戦します。は、いつやる予定ですか。

53 対応 5 : 文章を見直し一考しました。

54 意見 6 : 人口減少や超高齢化社会がどのようにつながっているのか教えてください。

55 対応 6 : 文章を見直し一考しました。

56 意見 7 : L13 の習慣とはどういったものを考えているか教えてください。

57 対応 7 : 文章を見直し一考しました。

58 意見 8 : L4 にある「まだまだ」は口語的かと思います。「未だ」でも通じるのではないでし
59 ょうか。

60 対応 8 : 文章を見直し一考しました。

61 意見 9 : L1, L4_我々と私たちが混在しております。

62 対応 9 : 文章を見直し一考しました。

63 意見 10 : L2 青少年の育成において求められる対応とは何を指し示していますか。

64 対応 10 : 文章を見直し一考しました。

65 意見 11 : L1～L2 が背景の課題になると思いますが、地域活性にはまちの課題も必要です。
66 それはどこにありますか。また 街と青少年の関係性を教えてください。

67 対応 11 : 文章を見直し一考しました。まちと青少年の関係性について青少年が住みやすく、
68 育成もしやすいまちづくりという点で合致すると考えています。

69 意見 12 : L3 にある停滞しているとは何がどう停滞しているのでしょうか。

70 対応 12 : 文章を見直し一考しました。

71 意見 13 : L4 の理念に立ち返る必要がある理由を教えてください。

72 対応 13 : 文章を見直し一考しました。

73 意見 14 : L4～L5 が必要な理由と、それが上段の課題のどの部分に関わってくるのか教えて
74 ください。

75 対応 14 : 文章を見直し一考しました。

76 意見 15 : L3 そもそもまちが発展していない理由は人口減少や超高齢化社会が問題なので
77 しょうか。変化に応じれていないことなどが問題ではないのでしょうか。

78 対応 15 : 文章を見直し一考しました。

79 意見 16 : L5 我々はすでに常に新たな挑戦をし続けている組織ではないのでしょうか。

80 対応 16 : 文章を見直し一考しました。挑戦ということばを全体的に削除しました。

81 意見 17 : L4～L5 この文章の職務内容が組織に関する内容になっており、地域活性化委
82 員会として必要な職務分掌に合っているのでしょうか
83 対応 17 : 文章を見直し—考えました。
84 意見 18 : L6 の書き出しが各委員会で違う。
85 対応 18 : 文章を見直し—考えました。
86 意見 19 : L6 発信するだけでまちへの愛着が増進されるのでしょうか。
87 対応 19 : 文章を見直し—考えました。
88 意見 20 : L7 後世に～ これは背景のどこにあたりますか。
89 対応 20 : 文章を見直し—考えました。
90 意見 21 : 重要性に取り組むとは、どういったことなのでしょう。重要性を理解するとか
91 なら分かりますが、重要性の何に取り組むのか教えてください。
92 対応 21 : 文章を見直し—考えました。
93 意見 22 : L9 挑戦でいいのか、この書き方は〇〇をして、その結果を書くべきであり、
94 しようとすることを書くわけではない。
95 対応 22 : 文章を見直し—考えました。
96 意見 23 : L10 例会内で行動までさせる想定なのでしょう。
97 対応 23 : 本文を修正していますが、例会では気づきと学びを提供することを考えていま
98 すので、その先の行動については各自、各家庭などで実践していただくことになると思
99 います。
100 意見 24 : 青少年事業はどこで行うのか、青少年に対する内容、課題解決が明らかに少ない
101 ように見えるが、どう考えているのか。
102 対応 24 : 青少年事業は 10 月で想定しています。青少年に対する内容、課題については「多
103 様性の理解と共生」についてで、多様性を間違って解釈すると偏見やいじめ、差別とい
104 ったものの原因をつくります。そうではないということを学ぶ機会として考えています。
105 意見 25 : 青少年の課題とそれに対する手法、目指すべき姿と町との関係性を教えてください。
106
107 対応 25 : 基本方針内に反映しました。
108 意見 26 : L12 ダイバーシティにむずびつける理由と、背景のどこにつながるのか教えてく
109 ださい。
110 対応 26 : 文章を見直し—考えました。
111 意見 27 : L11 変化が 発展の追い風になるのか。
112 対応 27 : 文章を見直し—考えました。
113 意見 28 : L16 主軸とあるが、何か他のことも行う予定なのか
114 対応 28 : 文章を見直し—考えました。
115 意見 29 : L17 基金を交付することでなぜ規模が大きくなるのか、また規模を大きくするこ
116 とが重要なのか。効果を高めるとか、青少年のためになり、メンバーの成長にもつながる
117 ことに寄付すべきではないのか。
118 対応 29 : 文章を見直し—考えました。
119 意見 30 : L20 目指すべき姿で、信じているのは違うのでは。こうなっていると記載を
120 地域は通年ではなく、各例会で目標達成していくようですが、どのようなホップステップ
121 ジャンプで実現するのか、そのイメージはあるのか。
122 対応 30 : 基本方針本文を見直し修正しました。
123 意見 31 : 理事長所信からも多岐に渡る課題があるのは理解できるがまだ整理できていない。

124 キーワードをちりばめているだけで、どのような関連性があり、どうつながっているのか
125 を考えて記載が必要。

126 対応 31：文章を見直し一考しました。

127 意見 32：サルビアについて、300 万使うようだが、うらは取ってあるのか、内訳も教えて
128 ください。

129 対応 32：確定ではありませんが、参加促進としてインパクトのある有名人をお呼びするた
130 めの企画演出費としています。

131 意見 33：L32 改行があるが他の委員会と記載が違う。事業予算の数字の文字の大きさが
132 少し大きい。

133 対応 33：修正しました。

134

135 第二回理事予定者会議 2025 年 10 月 29 日(水)

136 意見 34：子どもたちの生きる力と共に生きる力について教育を進めています。というところ
137 はどこからの情報でしょうか。

138 対応 34：四日市教育委員会の教育白書をエビデンスとして試しています。

139 意見 35：8 月の会場は体育館ですか、空調対策はできていますか。

140 対応 35：空調完備を含めて体育館開催の予定をしています。

141

142 第三回正副理事予定者会議 2025 年 11 月 12 日(水)

143 意見 1：何々のためにの語順が必要なので整理してください。(フォーマット通りの語順の
144 方が分かりやすくないですか)

145 対応 1：ご指定の通り、語順に沿って修正しています。

146 意見 2：青少年の定義を教えてください。

147 対応 2：幼時から高校生までの方々を対象と考えています。

148 意見 4：L3～L4 の四日市でも大きなテーマとなっています。の内容について青年会議所と
149 して何ができるのか考えてみてください。

150 対応 4：多様性や共生について、その中でも共創、協働にフォーカスしてその力の大きさ
151 について青少年に教え伝えていくことを目的としています。

152 意見 5：L6～L8 四日市では子どもたちの生きる力と共に生きる力～保護者の方は青少年の
153 育成に新たな視点を持っていただき、子どもの成長過程に様々な機会を提供することがで
154 きます。←部分的に背景に取り入れられるのではないのでしょうか。

155 対応 5：背景目的について深掘し、共創協働に焦点をあてて再修正いたしました。

156 意見 6：対象者をあまり青少年と保護者に絞りすぎないようにしてみてください。

157 対応 6：対象者を青少年とその教育側に関係する方と修正しました。

158 意見 7：交付先金額、交付金額がさみしいので見直してみてください。

159 対応 7：交付金額を 100 万円と見直しました。

160 意見 8：色々な団体巻き込みましょう。対内であっても各諸団体は巻き込めるのではない
161 か。(生徒会や市、NPO など)

162 対応 8：行政関係、NPO 団体など 3 月の例会から巻き込んで 1 年間の担当例会、事業の組み
163 立てを計画しています。

164 意見 9：例会とサルビアがセットになることがあるが、例会には例会の学び、事業は人に
165 与えられる影響というのが強いイメージがある。差別化をするのかしないのかを明確にし
166 てください。

167 対応 9：差別化はせず、一本化するように計画します。

168 意見 10：例会とサルビアわかるならそれぞれでそれぞれの項目金額を按分しますか。

169 対応 10：按分せずこちらも一本化で考えています。

170

171 第三回理事予定者会議 2025 年 11 月 20 日(木)

172 意見 1：3 月度例会は 8 月度例会に向けての例会になりますか？どのような講師を呼ばれる予定でいますか？

173

174 対応 1：8 月度例会につながる例会とします。四日市市子ども未来部子ども未来課の山路隆之様をお招きする予定です。

175

176 意見 2：基本方針本文に「多様」という言葉が多くあるので、読みやすくまとめてみてください。

177

178 対応 2：「多様な」という表現を一部訂正しました。「多様性」という言葉については残しています。多様性を 2026 年度のテーマとして取り上げているため。

179

180

181 第四回正副理事長予定者会議 2025 年 11 月 27 日(木)

182 意見 1：教育者って何、範囲絞らないでほしいし、教育者の方が詳しい可能性高いのではないのでしょうか。

183

184 対応 1：教育者とはあえて記載しませんでした。範囲を絞らずに親世代、祖父母世代、その他青少年たちに教育（勉学以外も含め）をする側の方々を指して「教育の側の方々」と記載しています。

185

186

187 意見 2：背景の語順が違う。多様性がある→共生できている→その先の協働共創ができればもっと良くなる →行政は縦割り、学校も結局個人の成績、企業も個人評価→無報酬で誰かを評価する必要がない JC だからこそ企業や行政にできない協働、共創の重要性を伝えることができる。の順

188

189

190

191 対応 2：語順を揃えて、背景の内容について見直しました。

192 意見 3：最後の 3 行が理事長所信、綱領からの引用なので委員会としての言葉に変更してください。

193

194 対応 3：引用を差し控え、訂正しました。

195 意見 4：文中の「新たな」とか「様々な」とかオブラートに包んだ文言に理由があれば具体的に記載。

196

197 対応 4：「新たな」については潜在的なまちの魅力を引き出すものとしてまだ不確かなものなので抽象的ですが、そのように表現しました。「様々な」については削除し文章を見直しました。

198

199

200 意見 5：未知への挑戦にあたる部分を最後に記載するといいかも。なぜ協働と共創を引っ張ってきたかをより深く考えてください。

201

202 対応 5：基本方針最後の 3 行を見直しました。

203 意見 6：公募先選定の内容をスケジュールに記載してください。

204 対応 6：事業計画に追記しました。

205 意見 7：10 月度例会の内容が詳細を書きすぎているので、事業概要になるような書き方をしてください。

206

207 対応 7：内容の一部を削除しました。

208 意見 8：サルビアの金額本当に確認してほしい。

209 対応 8：前回の指摘事項で四日市青年会議所として 100 万の給付を行うことにインパクト

210 があるという内容に賛同し、委員会としても、地域への貢献として四日市青年会議所をア
211 ピールするためにこの金額を設定しました。

212 意見 9：2 行目「しかし」とありますが、前後の文が逆説になっていないように見えます。
213 対応 9：文章を見直して訂正しました。

214 意見 10：3 行目「四日市」としてありますが、我々の活動範囲は三泗地区になると思いま
215 す。朝日川越菰野に対しては どのように考えておりますでしょうか。

216 対応 10：三泗地区で変更訂正しました。

217 意見 11：9 行目「また」とありますが、また以降の文章は前文から続いているのでしょ
218 か。ここだけ文章が独立しているように読み取れます。

219 対応 11：「そして」に訂正しました。

220 意見 12：10 行目前も伝えたかと思いますが、〇〇するために、〇〇をし、〇〇になります。
221 といった流れでなければ この手法をすべき理由が分かりません。

222 対応 12：手法の文章を見直しました。

223 意見 13：11 行目も何のためにするのでしょうか

224 対応 13：意見 12 と同じく訂正しました。

225 意見 14：13 行目 教育側とはどこの方を指しているのでしょうか。また教育者は我々より
226 も専門的な知識がある中 で、四日市青年会議所がどうやって新たな視点を持ってもら
227 のか、また成長過程に様々な機会に単年度制を採用している我々がどう提供するのか教え
228 てください。

229 対応 14：教育者、教育側という文言は削除しました。

230 意見 15：14 行目共創と協働がどのようにまちづくりにつながるのか教えてください。

231 対応 15：例えば、違う個性を持った子たちがまちの課題について協働し考え、解決案を共
232 創する（一人では思いつかないような発想を出し合う）などを考えています。

233 意見 16：17 行目 事業拡大という言葉に違和感があります。青少年育成に関係する団体は
234 利益目的なののでしょうか。 子どもたちのために使うお金が事業拡大と表現することに違
235 和感があります。

236 対応 16：地域発展という言葉に訂正しました。

237 意見 17：ホップステップジャンプの関係性を教えてください。

238 対応 17：3 月は私たちがまず協働と共創から発揮できる力について学び、他者へ伝えられ
239 るようになります。そして 8 月に青少年たちへ向けて私たちが学び得たことを伝え、実際
240 に協働、共創を体感していただきます。さらに 10 月は地域の方々（青少年を中心に大人
241 世代まで）に皆が協働して共創することでまちづくりや魅力発信に関する多様な価値観を
242 理解し実践していただくことで地域の活性化につなげていただきます。

243 意見 18：背景_課題が明確でないように思います。

244 対応 18：背景の行を見直し、文章を訂正しました。

245 意見 19：共創、協働のどのような機械が必要だと考えますか。

246 対応 19：個性や価値観が違う方々が同じテーマや課題、または制作物についてたくさんの
247 意見や手法を出し合い、皆の意見が取り入れられた一つの完成物をつくる機会をイメージ
248 しています。（青年会議所で例えるのであれば例会や事業の立案など）

249 意見 20：共創、協働に関してどのようなことをやっていくか、イメージはありますか。

250 対応 20：対応 19 と同様の考え方です。

251 意見 21：全体的ですが。「四日市」よりも「四日市市」の表現のほうがベストだと思いま
252 す。

253 対応 21：四日市市に訂正しました。

254 意見 22：全体的に読むと青少年に偏りがみられるイメージです。まちづくりの部分はどこ
255 にあるのでしょうか。

256 対応 22：一部手法のところでもちの魅力を引き出すと触れていますが、青少年がまちの未
257 来を担う人財であるので協働と共創について学び、その力を地域の発展のために発揮でき
258 るようになることを 1 年間の目的として考えています。

259

260 第四回理事予定者会議 2025 年 12 月 8 日(月)

261 意見 1：なし。

262 対応 1：なし。